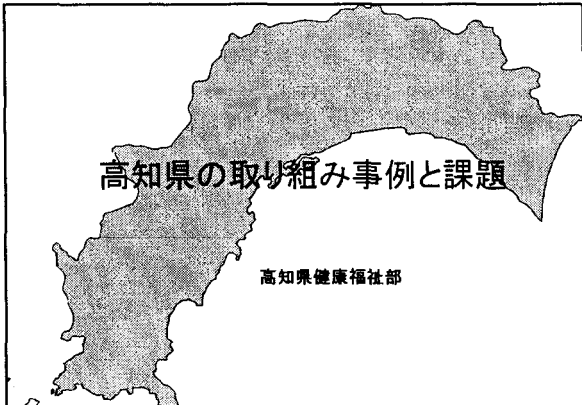



高 知 県



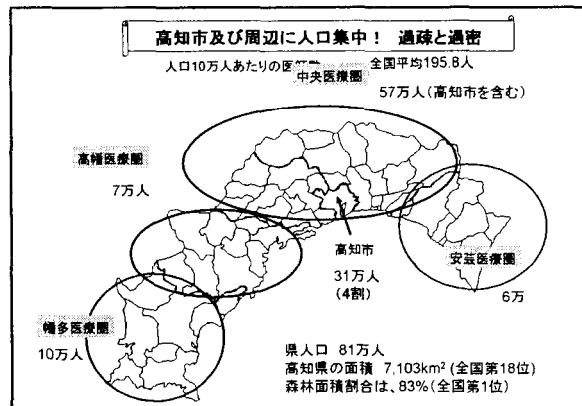
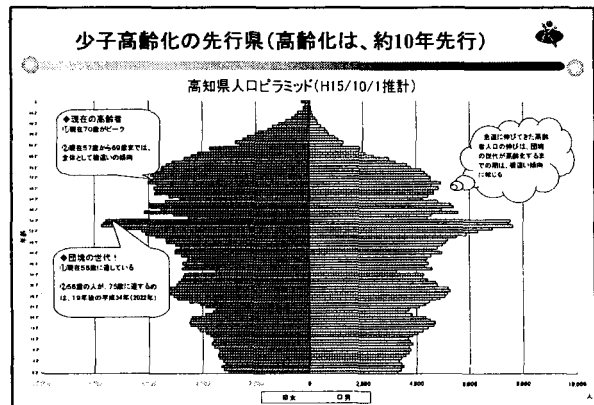
### 高知県の取り組み事例と課題

1. 高知県の特性
2. 取り組み事例
  - 周産期医療
  - へき地医療
3. 課題
  - 一般病床数、医師数の偏在
  - 国・公立病院と医療計画
  - 全国一の療養病床数



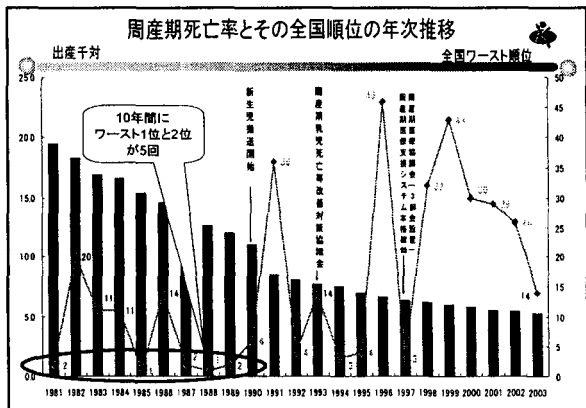
### 高知県の特性

- 少子高齢化が先行
  - 人口81万人、出生率（46位）、年少人口割合（45位）、老年人口割合（3位）：全国より約10年先行！
- 典型的な過疎と過密
  - 高知市への一極集中（31/81万人：4割）、医療地区数52
  - 森林面積割合（1位）、人口密度（43位）、可住地面積割合（47位）
- 経済基盤が弱い
  - 県民所得（43位）、完全失業率（6位）、生保被保護者数（3位）
  - 財政力指数（47位）、地方債残高（5位）
- 家族等の変化
  - 核家族世帯割合（23位）、高齢者単独世帯割合（2位）
  - 女性就業者比率（19位）、離婚率（7位）

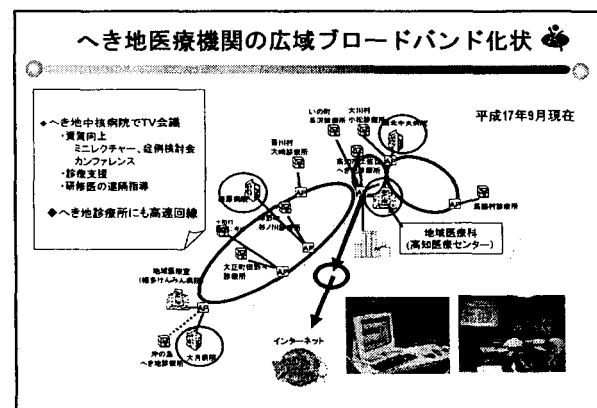
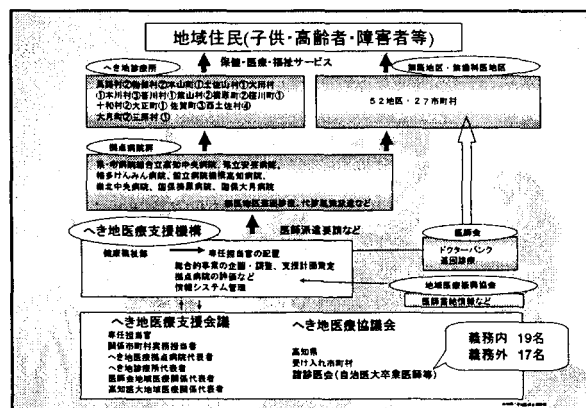
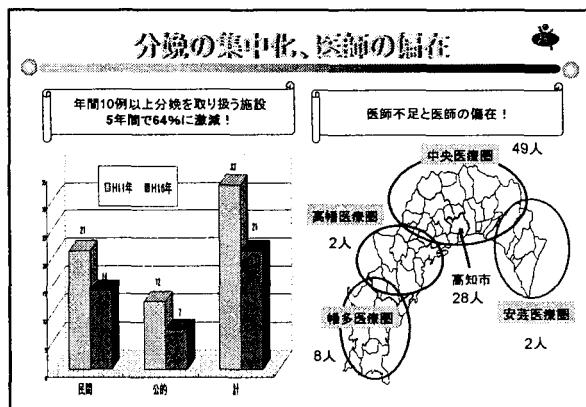


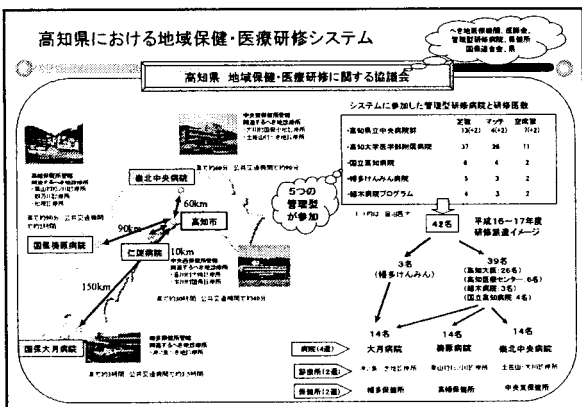
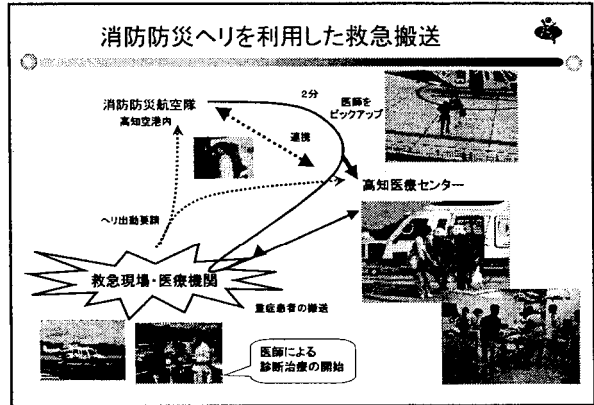
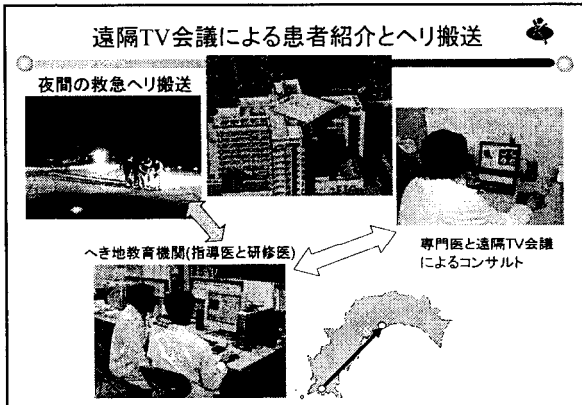
### 周産期医療の取り組みと課題





- ### 周産期医療における機能分担と連携
- 周産期医療協議会(医療施設間の機能分担と連携)
    - 県立中央病院と高知医大付属病院に、新生児搬送、母体搬送を集約化
  - 県立中央病院への新生児搬送
    - 新生児搬送マニュアル、搬送連絡書
  - 母体搬送システム
    - 周産期医療支援システム(APDS,kochi)の導入
    - 母体搬送マニュアル
    - 母体搬送基準と搬送連絡書の統一
  - 従事者研修
    - 専門病院への母体搬送の必要性を医師が早く判断できるよう情報ネットワーク上で支援
  - 総合周産期母子医療センター(高知医療センターに設置)

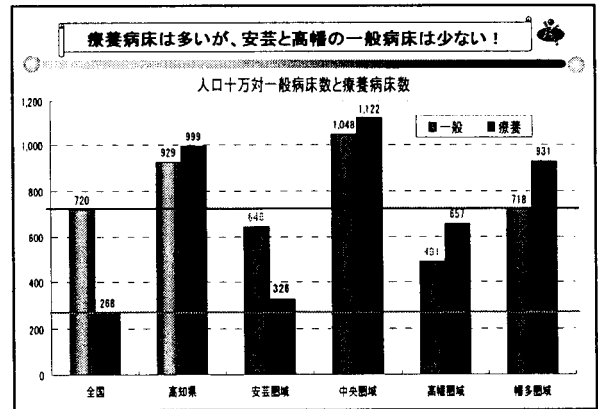


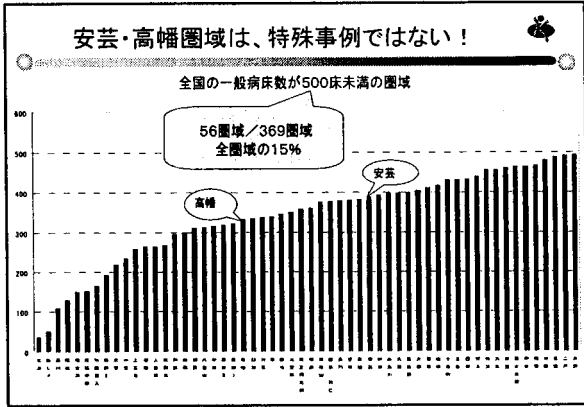


### 病床数は多いが、ベット当たり従事者数は少ない

	高知県	対全国比	順位
病院数	18.3(10万対)	2.51	1
一般病床数	1970(10万対)	1.98	1
1日平均在院患者数	2149(10万対)	1.95	1
一般病床の平均在院日数	49日	1.59	1
一般病床の利用率	86.3%	1.04	12
百床当り医師数	8.4	0.73	46
百床当り看護婦数	59.9	0.96	33

平成11年医療施設調査、病院報告





### 郡部の小規模圏域では、専門医が絶対的に不足！

専門医の数が、極端に少ない！  
【情報開示による患者選択以前の問題】

	総数	内科	外科	循環器科	小児科	産婦人科	麻酔科	耳鼻科	眼科
安芸圏域	101	37	14	1	5	2	2	2	5
中央圏域	1,685	535	162	41	81	49	50	47	78
高幡圏域	104	49	13	2	4	2	2	1	3
樟多圏域	204	74	26	7	11	8	4	6	7
高知市 (再掲)	1,033	283	102	33	48	28	37	24	46

高知市に一種集中！

H14.12.31 医師・歯科医師・薬剤師調査

